

## 令和5年度 美容科、ヘアメイク科

課目名	美容実習 (ワインディング)	使用教科書	美容師実技試験実技課題集					
課目の目標	ワインディング技術の習得 美容師国家試験実技第2課題							
履修学科	美容科・ヘアメイク科							
履修学年	1学年	総時数	240時間					
担当者	専任教員A、B、C、D、I、J (実務経験4年以上の者)							
年間の授業計画								
学期	月	学習内容	時数	評価の観点・考查等	授業の方法			
					講義 実習			
前期	4	WG ウィッグカット 基本姿勢、コームの持ち方、シェーピング、巻き込み、毛束の広げ、目線、収まり、ゴムかけ、奥行き		正しい姿勢が理解されている 上巻き、下巻きができる	○			
	5	センター、下巻き、上巻き		ブロッキング5分・3分で出来る センター20分で出来る	○			
	6	センター、バックサイド 前期中間試験実技		センター15分で出来る バックサイド、サイドの収まりが出来る	○			
	7	センター、バックサイド、サイド、 総復習、手直しのやり方		全頭23分で巻ける 全体のバランス、シェープ、ステムの角度方向 ゴムの掛け方が理解されている	○			
	8	センター、バックサイド、サイド、 総復習、手直しのやり方		全頭23分で巻ける 全体のバランス、シェープ、ステムの角度方向 ゴムの掛け方が理解されている	○			
	9	タイム調整 前期期末試験		全頭20分で巻ける(バックサイド・サイド) 全体のバランス、シェープ、ステムの角度方向 ゴムの掛け方が理解されている	○			
後期	10	国試課題 ブロッキング、ロット配列		全体のバランス、シェープ、ステムの角度方向 ゴムの掛け方が理解されている	○			
	11	国試課題 ブロッキング、ロット配列		全体のバランス、シェープ、ステムの角度方向 ゴムの掛け方が理解されている	○			
	12	後期中間試験 ブロッキング、ロット配列、 フロント、バックサイド、サイド、全体の収まり		全体のバランス、シェープ、ステムの角度方向 ゴムの掛け方が理解されている	○			
	1	国試課題 時間内に収める		全体のバランス、シェープ、ステムの角度方向 ゴムの掛け方が理解されている 全頭28分で巻ける	○			
	2	進級試験 国試課題25分		全頭25分で巻ける	○			
	3							
備考								
卒業・進級の認定基準	実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A~Dの4段階評価)							

## 令和5年度 美容科、ヘアメイク科

課目名	美容実習 (オリジナル・オールウェーブ)	使用教科書	美容師実技試験実技課題集					
課目の目標	オリジナル・オールウェーブ技術の習得 美容師国家試験実技第2課題							
履修学科	美容科・ヘアメイク科							
履修学年	1学年	総時数	240時間					
担当者	専任教員A、B、C、D、I、J (実務経験4年以上の者)							
年間の授業計画								
学期	月	学習内容	時数	評価の観点・考查等	授業の方法			
					講義 実習			
前期	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
	9	ローションの作り方、コームの持ち方、45度のシェーブ、正しい姿勢、リッジの作り方、フィンガーウェーブの作り方		正しい姿勢で作業が出来る コームの使い方を正確に使える フィンガーウェーブを正確に作る		○		
後期	10	オールウェーブ7段構成 スカルプチュアカール		フィンガーウェーブ7段を正確に作る スカルプチュアカールが正確に出来る	○			
	11	リフトカール左右巻き メイポールカール クロッキノールカール		リフトカールが出来る メイポールカールが出来る クロッキノールカールが出来る	○			
	12	全体の構成 全体のつながり、フィンガーウェーブ、ピンカール、ピニング		全体の構成が理解されている 全体のつながり、フィンガーウェーブ、ピンカール、ピニングが出来る	○			
	1	全体の構成 全体のつながり、フィンガーウェーブ、ピンカール、ピニング		全体の構成が理解されている 全体のつながり、フィンガーウェーブ、ピンカール、ピニングが出来る	○			
	2	進級試験対策		全体の構成が理解されている 全体のつながり、フィンガーウェーブ、ピンカール、ピニングが出来る	○			
	3							
備考								
卒業・進級の認定基準	実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。 (A~Dの4段階評価)							

## 令和5年度 美容科、ヘアメイク科

課目名	美容実習 (シャンプー・サイド・リア)	使用教科書						
課目の目標	美容師に必要な礼儀・マナー・挨拶の修得と技術のマスター							
履修学科	美容科・ヘアメイク科							
履修学年	1学年	総時数	24時間					
担当者	専任教員A、B、C、D、I、J (実務経験4年以上の者)							
年間の授業計画								
学期	月	学習内容	時数	評価の観点・考查等	授業の方法			
					講義 実習			
前期	4	挨拶(声だし)、準備物の確認 お湯で流す、タオルターバン		準備が出来る ターバンが出来る	○			
	5	お湯で流す、1シャンプー工程		1シャンプー工程を理解した	○			
	6	2シャンプー工程、マッサージ、		2シャンプー工程を理解した	○			
	7	声だし～シャンプー～マッサージ		2シャンプー工程が出来る	○			
	8							
	9							
後期	10							
	11	リアシャンプー シャンプー工程、シャンプーボールの セッティング		リアシャンプーの準備が出来る シャンプー工程を理解した	○			
	12	リアシャンプー シャンプー工程、シャンプーボールの セッティング、 2シャンプー～マッサージ		リアシャンプーの準備が出来る シャンプー工程が出来る	○			
	1							
	2							
	3							
備考								
卒業・進級の認定基準	実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A～Dの4段階評価)							

## 令和5年度 美容科、ヘアメイク科

課目名	美容実習 (ワインディング)	使用教科書	美容師実技試験実技課題集					
課目の目標	ワインディング技術の習得 美容師国家試験実技第2課題 合格							
履修学科	美容科・ヘアメイク科							
履修学年	2学年	総時数	180時間					
担当者	専任教員E、F、H、I、J（実務経験4年以上の者）G（実務経験2年以上の者）							
年間の授業計画								
学期	月	学習内容	時数	評価の観点・考查等	授業の方法			
					講義 実習			
前期	4							
	5	ブロッキング センター スライス・シェープ・巻き込み・毛束の広げ・目線 收まり・ゴム掛け・奥行き合わせ		ブロッキングのセンターが真っすぐにとれる。 スライス線、シェープが正確にとれる。		○		
	6	センター・バックサイド・サイド 全体の復習・苦手箇所の徹底トレーニング Cラインの收まり		センターのスライス幅が正確にとれて收まる。 バックサイドがセンターに対して正確に 收まり、両バックサイドがシンメトリーで ある事。		○		
	7	全体のバランス 総復習 手直しトレーニング 苦手箇所の徹底トレーニング タイム調節		センターが6分で巻き終わる。 バックサイドが7分で巻き終わる。		○		
	8	基本確認 総復習 タイム調節 手直しタイム 1分		全頭20分で巻き終わる。		○		
	9	試験に向けて総復習		前期期末試験実技 令和3年9月24日(金) 全頭20分で巻き終わる。		○		
後期	10	全体のバランス・スライス・シェイプ・巻き収め チェック		センター、フロント、バックサイドを各 ブロックごとにタイム内で完成度をあげて いく。		○		
	11	全体のバランス・スライス・シェイプ・巻き収め チェック 国家試験の採点基準説明		国家試験採点基準をふまえて、ブロッキング、 シェープ、姿勢、巻き收まりが正確に行える。		○		
	12	全頭18分、手直し2分のタイムトレーニング		国家試験に向け、全頭18分で巻き、 手直しの時間を2分残しタイム内で巻き 終わる事。		○		
	1	全頭18分、手直し2分のタイムトレーニング		卒業試験実技 令和4年1月18日(火) 全頭20分で国家試験合格基準を満たし巻く。		○		
	2			美容師国家試験・実技 令和4年2月2日(水)～3日(木)				
	3							
備考								
卒業・進級の認定基準	実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）							

## 令和5年度 美容科、ヘアメイク科

課目名	美容実習 (オールウェーブセッティング)	使用教科書	美容師実技試験実技課題集					
課目の目標	オールウェーブセッティング技術の習得 美容師国家試験実技第2課題 合格							
履修学科	美容科・ヘアメイク科							
履修学年	2学年	総時数	180時間					
担当者	専任教員E、F、H、I、J（実務経験4年以上の者）G（実務経験2年以上の者）							
年間の授業計画								
学期	月	学習内容	時数	評価の観点・考查等	授業の方法			
					講義 実習			
前期	4							
	5	1段目～7段目 フィンガーウェーブ、リッジの確認、スカルプチャカール・リフトカール・マイポールカール・クロックキノールカールの作り方、収め方、位置、ピニング		カールスペースが正確にとれている。 フィンガーウェーブ、リッジを正確に作る。 カールの收まりが正確である。	○			
	6	1段目～7段目 スカルプチャカール・リフトカール・マイポールカール・クロックキノールカールの作り方、収め方、位置、ピニング		カールの大きさ、バランス、毛先の処理が正確に作れる。	○			
	7	全体のバランス オープン・クローズのフェイスライン確認 ピンカールのバランス		フィンガーウェーブ、リッジが正確に作れる。 ピンカールのバランスが正確である。	○			
	8	全体のバランス オープン・クローズのフェイスライン確認 ピンカールのバランスタイム調整		時間内に仕上がる 全頭25分チェック	○			
	9	試験に向けて総復習		前期期末試験実技 令和3年9月24日(金) 全頭20分で巻き終わる。	○			
後期	10	フィンガーウェーブ、リッジの確認 スカルプチャカール・リフトカール・マイポールカール・クロックキノールカールの作り方、収め方、位置、ピニング		タイム25分以内でカール、フィンガーウェーブ、リッジが正確に作れる。	○			
	11	美容師国家試験実技第2課題発表 フロント2段目リッジの奥行、コームの使い方、ピニング		国家試験採点基準をふまえて、バランス、ピンカール、リッジが正確に作れる事が出来る。	○			
	12	マイポールカール、クロックキノールカールの確認 全体のバランス		国家試験に向け、全頭23分で作り、手直しの時間を2分残しタイム内で作り終わる事。	○			
	1	全頭23分、手直し2分のタイムトレーニング		卒業試験実技 令和4年1月18日(火) 全頭25分で国家試験合格基準を満たし作る。	○			
	2			美容師国家試験・実技 令和4年2月2日(水)～3日(木)				
	3							
備考								
卒業・進級の認定基準	実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）							

## 令和5年度 美容科、ヘアメイク科

課　目　名	美容実習 (カット)	使用教科書	美容師実技試験実技課題集					
課　目　の　目標	レイヤースタイル技術の習得 美容師国家試験実技第2課題 合格							
履　修　学　科	美容科・ヘアメイク科							
履　修　学　年	2学年	総時数	102時間					
担　当　者	専任教員E、F、H、I、J（実務経験4年以上の者）G（実務経験2年以上の者）							
年間の授業計画								
学期	月	学　習　内　容	時数	評価の観点・考查等	授業の方法			
					講義	実習		
前　期	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
	9							
後　期	10	美容師国家試験実技第2課題 レイヤーカット・ブロッキング・ガイドのカット・ 第1ブロック・第2ブロック・第3ブロック・ フロント・サイドのカット		作業手順が理解できる ブロッキングが出来る ガイドをカットできる	○			
	11	美容師国家試験実技第2課題発表 全頭を通してカット、チェックカット		正確なストランドが理解できる ガイドを正確につなげることが出来る チェックカットが正確に出来る	○			
	12	カット手順、姿勢 フロント・もみあげ・トップ・バックポイント ネープの長さを正確にカットする レイヤーのつなぎりを正確にカットする		フロント・もみあげ・トップ・バックポイント ネープの長さを正確にカットできる ヘムラインが正確につながっている レイヤーのつなぎりが正確に出来る	○			
	1	20分タイムトレーニング		卒業試験 令和4年1月18日(火) 国家試験合格基準を満たし20分でカット できる	○			
	2			美容師国家試験・実技 令和4年2月2日(水)～3日(木)				
	3							
備　考								
卒業・進級 の認定基準	実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）							

## 令和5年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名	美容実習 (シャンプー)	使用教科書				
課 目 の 目 標	接客マナーの習得とシャンプー技術の習得					
履 修 学 科	美容科・ヘアメイク科					
履 修 学 年	2学年	総時数	24時間			
担 当 者	専任教員E、F、H、I、J（実務経験4年以上の者）G（実務経験2年以上の者）					
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時数	評価の観点・考查等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4					
	5	リア シャンプー ブレーンリンス 泡立て マニピュレーション リンス タオルドライ		シャンプー工程を理解する		○
	6	リア シャンプー 両手使い、お湯の通り確認、姿勢		カラーシャンプーが出来る 充分な洗い、すすぎが出来る		○
	7					
	8	リア シャンプー すすぎ残しがない、顔にかかるない、力加減 サイドシャンプー 技術の確認		指抜きをしてマッサージ効果のある シャンプーが出来、全頭に指が行き渡る		○
	9	リア シャンプーを使用しヘッドマッサージ、ヘッド スパヘアケア		力加減の強弱をつけマッサージを行える 毛先を中心に均等にトリーメント塗布が出来る		○
後 期	10	気持ちの良いシャンプー技術をマスターする クラクゼーション		シャンプー・ヘアケア・ヘッドマッサージの 流れに沿って行う事が出来、リラクゼーション 効果のあるマッサージが出来る		○
	11					
	12					
	1					
	2					
	3					
備 考						
卒業・進級 の認定基準	実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）					

## 令和5年度 ビューティーエステ科

課　目　名	フェイシャルエステティック	使用教科書	新エステティック学技術編Ⅰ					
課　目　の　目標	フェイシャルエステティックの基礎技術を習得する JE0エステティシャンセンター試験合格							
履　修　学　科	ビューティーエステ科							
履　修　学　年	1学年	総時間数	201時間					
担　当　者	専任教員K、L、兼任教員N（実務経験4年以上） 専任教員M、兼任教員O（実務経験2年以上の者）							
年間の授業計画								
学期	月	学　習　内　容	時間数	評価の観点・考查等	授業の方法			
					講義	実習		
前　期	4	ベッドセッティング、ワゴンセッティング、スマートオル、コットなどの事前準備方法、ターバンの巻き方	12	衛生を保った事前準備方法を習得する		○		
	5	クレンジング手法、ディープクレンジング技術（ゴマージュ・酵素・粒子・吸引・エレクトロクレンジング・ブラシクレンジング）技術を学ぶ	27	機器の安全な操作方法、注意、禁忌事項の確認をし習得する		○		
	6	エステティック協会マッサージ技術 ドール練習→相手モデル	21	マッサージ技術の習得 身体、肩、手のスキンタッチを習得する		○		
	7	試験練習 機器（イオン導入・パター）技術・理論	12	理論の理解、機器の安全な操作方法、注意、禁忌事項の確認をし習得する		○		
	8	クレンジング～ディープクレンジング～機器～マッサージ 復習	6	全ての理論、注意事項を把握した上での技術習得を目指す		○		
	9	試験練習・試験	9	試験練習・試験		○		
後　期	10	パック塗布・除去方法 機器（高周波）操作方法 コンサルテーションの記入方法を学ぶ	15	正確なコンサルテーションの情報、肌診断を目指す		○		
	11	トータルトリートメントメニューの練習	24	正確なコンサルテーションから安全かつ、効果的なトリートメント技術ができるようにを目指す		○		
	12	試験練習・校内コンテスト練習	30	試験練習・校内コンテスト練習		○		
	1	コンサルテーションの復習、トータルトリートメントメニューの練習	9	正確なコンサルテーションから安全かつ、効果的なトリートメント技術ができるようにを目指す		○		
	2	試験練習・進級試験	24	試験練習・進級試験		○		
	3	滝川機器の使用方法（イオン導入・パター） 新マッサージ技術を学ぶ	12	機器の安全な操作方法、注意、禁忌事項の確認をし新マッサージ技術を習得する		○		
備　考		予定時間数	201					
卒業・進級の認定基準	実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）							

## 令和5年度 ビューティーエステ科

課　目　名	フェイシャルエステティック	使用教科書	新エステティック学技術編 I				
課　目　の　目　標	フェイシャルエステティックの応用技術を習得する 日本エステティック協会上級試験合格						
履　修　学　科	ビューティーエステ科						
履　修　学　年	2学年	総時間数	111時間				
担　当　者	専任教員K、L、兼任教員N（実務経験4年以上） 専任教員M、兼任教員O（実務経験2年以上の者）						
年間の授業計画							
学期	月	学　習　内　容	時間数	評価の観点・考查等	授業の方法		
					講義	実習	
前 期	4	ブラシクレンジング技術復習	3	機器の安全な操作方法の確認	<input type="radio"/>		
	5	トータルフェイシャルトリートメント技術復習	27	上級試験にむけての技術習得	<input type="radio"/>		
	6	トータルフェイシャルトリートメント技術復習 苦手分野技術練習 試験練習・試験	39	フェイシャルトータル技術において苦手分野の克服	<input type="radio"/>		
	7	上級試験にむけてのトータル技術練習 上級・修了試験	27	フェイシャルトータル技術向上を図る 上級・修了試験	<input type="radio"/>		
	8						
	9	滝川マッサージ技術、高周波間接法復習	9	マッサージ技術の向上、機器の理論、安全な操作方法の習得確認	<input type="radio"/>		
後 期	10	学生模擬サロン（ONEDAY） 技術メニュー練習	6	お客様に提供できる技術向上を図る	<input type="radio"/>		
	11						
	12						
	1						
	2						
	3						
備　考		予定時間数	111				
卒業・進級 の認定基準	実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。 (A～Dの4段階評価)						

## 令和5年度 ビューティーエステ科

課　目　名	ボディエステティック	使用教科書	新エステティック学技術編 I					
課　目　の　目　標	ボディエステティックの基礎技術を習得する JE0エステティシャンセンター試験合格							
履　修　学　科	ビューティーエステ科							
履　修　学　年	1学年	総時間数	165時間					
担　当　者	専任教員K、L、兼任教員N（実務経験4年以上） 専任教員M、兼任教員O（実務経験2年以上の者）							
年間の授業計画								
学期	月	学　習　内　容	時間数	評価の観点・考查等	授業の方法			
					講義	実習		
前　期	4	実習質の使い方、体重移動、前操作～下肢ウラマッサージ技術	12	誘導から下肢うらマッサージ技術の習得	<input type="radio"/>			
	5	下肢うらマッサージ技術復習 腹部マッサージ	12	誘導～下肢うらマッサージ技術の習得ができているか確認	<input type="radio"/>			
	6	G5機器 操作方法 下肢うらマッサージ技術練習	24	G5機器の安全な操作方法、禁忌、注意事項の確認 タイム計測 試験練習	<input type="radio"/>			
	7	サクション機器 操作方法	12	サクション機器の安全な操作方法、禁忌、注意事項の確認	<input type="radio"/>			
	8	サクション機器+下肢うらマッサージ 試験練習	6	タイム計測	<input type="radio"/>			
	9	低周波機器 操作方法（腹部・大腿部・腰背部・上腕）	15	低周波機器の安全な操作方法、禁忌、注意事項の確認	<input type="radio"/>			
後　期	10	低周波機器試験練習	15	タイム計測 試験練習	<input type="radio"/>			
	11	コンサルテーション～採寸 機器復習 保護者参観日メニュー作成	27	肌状態、採寸の正確な技術方法の習得 コミュニケーション技術習得	<input type="radio"/>			
	12	参観日練習 コンサルテーション～機器選択～マッサージ技術復習	12	コンサルテーションに合わせた機器選択ができるようにする	<input type="radio"/>			
	1	コンサルテーション～機器選択～マッサージ技術復習	6	コンサルテーションに合わせた機器選択ができるようにする	<input type="radio"/>			
	2	コンサルテーション～機器選択～マッサージ技術試験練習	18	試験練習 タイム計測	<input type="radio"/>			
	3	進級試験	6	進級試験	<input type="radio"/>			
備　考	予定時間数	165						
卒業・進級の認定基準	実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）							

## 令和5年度 ビューティーエステ科

課　目　名	ボディエステティック	使用教科書	新エステティック学技術編Ⅰ			
課　目　の　目　標	ボディエステティックの応用技術を習得する 日本エステティック協会上級試験合格					
履　修　学　科	ビューティーエステ科					
履　修　学　年	2学年	総時間数	165時間			
担　当　者	専任教員K、L、兼任教員N（実務経験4年以上） 専任教員M、兼任教員O（実務経験2年以上の者）					
年間の授業計画						
学期	月	学　習　内　容	時間数	評価の観点・考查等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	ボディ上級試験に向けての技術練習・上級試験誘導～コンサル～機器～マッサージ～拭取り～誘導	39	各項目がタイム内収める 機器の安全な操作方法 上級試験		○
	5	ボディスクラブ、リンパマッサージ、背面マッサージのアレンジ練習	12	お客様の悩みを想定した、マッサージ技術を習得できているか		○
	6	背面アレンジマッサージの復習 姿勢やポジショニングの確認	15	効果的、効率的な姿勢、ポジショニング		○
	7	リンパマッサージ復習、技術トレーニング	9	リンパの流れの把握、スキンタッチ		○
	8	ボディパック技術練習	3	手際良く、効果的な適量での塗布ができるか		○
	9	ボディ機器～ボディパックまでの総合練習	12	タイム内に収める		○
後 期	10	ボディトータルトリートメント	21	モデルの悩みにあったお手入れをし結果をだしていく。		○
	11	ボディトータルトリートメント	15	モデルの悩みにあったお手入れをし結果をだしていく。		○
	12	ボディトータルトリートメント	30	学生模擬サロン（ONEDAY）オープンに向けてお客様へ提供する技術の練習		○
	1	ボディトータルトリートメント	6	修了・卒業試験		○
	2	ボディトータルトリートメント	3	学生模擬サロン（ONEDAY）オープンに向けてお客様へ提供する技術の練習		○
	3					
備　考		予定時間数	165			
卒業・進級の認定基準	実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）					